

看護学部看護学科
履修系統図

※[]は履修単位数、◎必修科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
	(第1・第2セメスター)	(第3・第4セメスター)	(第5・第6セメスター)	(第7・第8セメスター)
	看護職に必要な コミュニケーションスキルを 身につけます。	身体の構造や 健康維持についての メカニズムを学びます。	臨床の現場での 実習を通しての 実践能力を身につけます。	実践能力に 研究成果を活かし 国家試験合格を目指します
リベラル アーツ	導入教育 [◎2]宗教学 [◎2]基礎演習 [◎2]情報処理基礎 [◎2]データサイエンス入門 [◎2]日本語表現リテラシー	[◎2]地域文化論 [◎2]プレゼンテーション [2]言語学		リベラルアーツとは 広く豊かな教養を身につけると同時に、 コミュニケーション能力を身につける ための科目です。
	外国語を学ぶ領域	[2]英語Ⅱ [2]ドイツ語Ⅱ	[2]英語コミュニケーション [2]英語(TOEIC)Ⅰ [2]中国語 [2]韓国語	
	日本語を学ぶ領域(※外国人留学生のみ履修可)	[2]日本語Ⅲ [2]日本語Ⅳ	[2]日本語Ⅴ [2]日本語Ⅵ	
	人としてのあり方を学ぶ領域	[2]哲学 [2]人間関係論	[2]デザイン論 [2]行動の科学	
	社会のあり方を学ぶ領域	[2]国際関係論 [2]日本国憲法	[2]海外事情	
	自然と科学を学ぶ領域	[2]数学 [1]スポーツ実技Ⅰ	[2]防災と危機管理 [2]自然科学概論	
	日本の文化と社会を学ぶ領域(※外国人留学生のみ履修可)	[2]日本文化Ⅰ [2]日本社会Ⅰ		
専門 教育 科目	専門導入科目 [◎1]看護教育のための生物基礎 [1]看護教育のための化学基礎			専門教育科目とは 看護学を理論と実践の両面から探求するための科目で、 それぞれの専門分野の統合を図ります。
	専門基礎科目			
	人間と健康 [◎2]発達心理学 [◎2]解剖生理学Ⅰ	[◎2]生命と倫理 [◎2]解剖生理学Ⅱ [◎1]栄養学 [◎1]微生物学	[◎2]病態学Ⅰ [◎2]病態学Ⅱ [◎2]薬理学	
	環境と健康 [◎1]社会福祉論	[◎1]公衆衛生学 [◎1]保健統計学Ⅰ	[◎2]疫学 [1]保健統計学Ⅱ	
			[◎1]保健医療福祉行政論Ⅰ [1]保健医療福祉行政論Ⅱ	
	看護の基本 [◎2]看護学概論 [◎2]日常生活援助論 [◎1]コミュニケーション論 実習[◎1]基礎看護学実習Ⅰ	[◎2]回復促進援助論 [◎1]ヘルスアセスメント [◎1]看護倫理	[◎2]看護過程論 [◎1]基礎看護学実習Ⅱ [◎2]基礎看護学実習Ⅲ	
		看護の展開・成人看護 [◎2]成人看護学概論 [◎2]成人看護援助論Ⅰ [◎2]成人看護援助論Ⅱ		
		看護の展開・高齢者看護 [◎2]高齢者看護学概論 [◎2]高齢者看護援助論		
		看護の展開・小児看護 [◎2]小児看護学概論 [◎2]小児看護援助論		
		看護の展開・母性看護 [◎2]母性看護学概論 [◎2]母性看護援助論		
		看護の展開・精神看護 [◎2]精神看護学概論 [◎2]精神看護援助論		
	看護の統合・地域・在宅看護 [◎1]地域保健学	[◎2]地域・在宅看護学概論 [◎2]地域・在宅看護援助論		
		看護の統合・看護の発展 [◎1]家族看護論	[◎1]医療安全論	[◎1]災害看護活動論 実習[◎2]統合看護実習
			[◎1]統合看護論 [◎1]看護管理論 [◎1]チーム医療論 [1]リハビリテーション看護 [1]緩和ケア論	[◎1]国際看護活動論 [1]救急看護 [1]看護教育論
		公衆衛生看護 [1]公衆衛生看護学概論Ⅰ	[1]公衆衛生看護学概論Ⅱ [2]公衆衛生看護支援論Ⅰ [2]公衆衛生看護活動展開論Ⅰ [1]公衆衛生看護管理論	[2]公衆衛生看護支援論Ⅱ [2]公衆衛生看護活動展開論Ⅱ 実習[1]公衆衛生看護支援実習
			看護の研究 [◎2]看護学研究法	実習[1]公衆衛生看護学実習Ⅰ [3]公衆衛生看護学実習Ⅱ